

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 実技				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして30年 これまでの経験を生かし授業を展開しまた同時にライセンス試験のための対策も行う。		
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 5	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
6~ 7	プードルマイアミ	絵を書く カットの説明		
8~ 9	プードルボレロマンハッタン	絵を書く カットの説明		
10~ 11	サロントリマー 3級試験対策	過去問題を解きながら対策		
12~ 13	今までのおさらい	仕事で使う事例でのおさらい		
14~ 15	スタンダードに基いて考えるトリミング	骨格などの説明		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅠ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有	森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 山地香里 トリマーとして6年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~11	応用	トリミング犬種を中心とした実習 トリミング実習に続くカットの仕上げを行う		
12~23	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬体を考え、カットの理解を深める		
24	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
25~38	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
39	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
40~45	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅡ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる JKCトリマーライセンスC級試験合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 山地香里 トリマーとして6年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修				
実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内 容		
1~13	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
14	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
15~27	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
28	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
29~41	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
42	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
43~55	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
56	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
57~60	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅴ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう(2年次に履修した内容をさらにレベルアップする)				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	集中力アップ		
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11~14	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習VI		動物看護総合学科/3年	2023/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	集中力アップ		
6~14	基礎の復習 自由科目の練習	脚側行進・停座・伏せ お手・ハイタッチ・バーン・回れなど		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西村 美笛

授業の概要

繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雌雄がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな個体(生命)が誕生する神秘的な営みである。本科目では主にイヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常な分娩の前兆、生理的変化と異常分娩時における助産について学習する。また、産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる。ブリーディングにおいて知っておかなければいけない交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める。また、イヌとネコ以外の動物についても繁殖に関して比較して学習する。

授業終了時の到達目標

イヌ、ネコの繁殖について説明ができる  
 イヌの交配について説明ができる  
 ネコの交配について説明ができる  
 イヌ、ネコの生殖器について説明ができる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物系専門学校にて教員としての教務 10年

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	雌の生殖器の構造と機能	雌の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
2	雄の生殖器の構造と機能	雄の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
3	性成熟と生殖周期① 生殖活動に関連するホルモン	雌イヌと雌ネコの性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
4	性成熟と生殖周期② 生殖活動に関連するホルモン	各種動物の性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
5	雌イヌの繁殖①(排卵と交配)	イヌの排卵、交配時期
6	雌イヌの繁殖②(妊娠、分娩)	イヌの妊娠、分娩
7	雌ネコの繁殖①(排卵と交配)	ネコの排卵、交配時期
8	雌ネコの繁殖②(分娩) 帝王切開	雌ネコの妊娠、分娩
9	出産①	出産の立ち会い方
10	出産③	助産
11	難産、帝王切開	生まれてきた子犬の健康維持について
12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の健康維持について
13	離乳期の飼い方	離乳食の与え方

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめ	まとめ		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	基礎動物看護学①動物形態機能学 動物繁殖学（インターズー） 動物看護のための小動物繁殖学（ファームプレス） 獣医繁殖学（文栄堂出版）	期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	40.0% 20.0% 20.0% 20.0%	事前学習 前回の授業の内容 を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	呼吸器の病気 1	呼吸器系の解剖生理を復習する 呼吸器の疾患(鼻汁、くしゃみ、咳)		
2	呼吸器の病気 2	呼吸器の疾患(ケンネル・コフ、上部気道感染症候群)		
3	呼吸器の病気 3	呼吸器の疾患(肺炎、水胸、膿胸、血胸)		
4	呼吸器の病気 4	呼吸器の疾患(気胸、肺気腫、気管虚脱、横隔膜ヘルニア)		
5	泌尿器の病気 1	泌尿器系の局所解剖と生理を復習する 泌尿器系の主な症状と検査		
6	泌尿器の病気 2	泌尿器系の疾患(腎不全)		
7	泌尿器の病気 3	泌尿器系の疾患(下部尿路疾患)		
8	生殖器の病気 1	生殖器系の局所解剖と生理を復習する		
9	生殖器の病気 2	生殖器系の疾患(子宮蓄膿症、乳腺腫瘍)		
10	生殖器の病気 3	生殖器系の疾患(前立腺肥大、潜在精巣、陰嚢ヘルニア)		
11	神経系の病気 1	神経系疾患の局所解剖と生理を復習		
12	神経系の病気 2	神経系の疾患(椎間板ヘルニア、水頭症)		
13	神経系の病気 3	神経系の疾患(てんかん、変性性腰仙部狭窄症)		
14	神経系の病気 4	神経系の疾患(環椎軸椎脱臼、脊椎奇形)		



回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅳ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に7年勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	消化器の病気 5	腸の疾患 タンパク漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症		
2	消化器の病気 5	消化管内異物・腸閉塞・腸重積		
3	消化器の病気 5	胃の疾患 胃拡張胃捻転症候群・幽門狭窄・胃炎		
4	消化器の病気 5	食道の疾患 (右大動脈弓遺残含む)		
5	消化器の病気 5	口腔の疾患 1 歯の形態機能(復習) 不正咬合、乳歯遺残、口蓋裂・歯周病		
6	消化器の病気 5	ヘルニア(臍・鼠径・会陰・横隔膜)		
7	消化器の病気 5	肝臓疾患 肝炎、肝硬変、肝リピドーシス		
8	消化器の病気 5	門脈体循環シャント、胆嚢粘液嚢腫		
9	消化器の病気 5	膵炎、膵外分泌不全		
10	循環器疾患	循環器系: 心臓の構造と働き(復習)		
11	心臓の疾患	僧帽弁閉鎖不全 犬糸状虫症		
12	心臓の疾患	動脈管開存		
13	前期の復習	おさらい		
14	復習テスト	復習テストの実施		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学 I		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用についての知識を動物看護師が有することはカルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となる。そのために薬物の取り扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。薬理学総論において薬の基本的性質、効能と副作用について学ぶ。また、薬理学各論においてそれぞれの薬の投薬前後の動物における状態の変化を学習する。飼い主に正しい投薬説明、指導ができることを目指す。				
授業終了時の到達目標				
臨床現場で使用する薬剤の種類を分類できる 臨床現場での投薬法について説明ができる 薬を投与後、体内での薬の流れと効果発現までの機序を説明できる 看護動物に使用する投与量を正確に計算できる 神経系に作用する薬について説明することができる 呼吸器系に作用する薬について説明することができる 循環器系に作用する薬について説明することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 30年以上 動物系専門学校における動物看護系教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1~2	動物看護師による薬物の取り扱い	薬物治療の概念と目的、医薬品の分類と法規、薬の開発過程とジェネリック医薬品		
3~4	動物薬理学の基礎	薬理作用とその発現機構、薬の作用点と受容体、薬物の剤形と投与方法、生体内での薬物動態、薬効に影響を与える因子、有害作用の分類と機序		
5~8	神経系に作用する薬物	麻酔薬、鎮痛薬、運動神経系に作用する薬、鎮静薬と抗けいれん薬(抗てんかん薬、行動異常の治療薬)		
9~10	呼吸器系に作用する薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、抗ヒスタミン薬		
11~14	循環器系に作用する薬	血管拡張薬(降圧薬)、利尿薬、抗不整脈薬、強心薬(心不全治療薬)、止血薬、抗血栓薬		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルのファーストステップ薬理学(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト3動物の疾病と予防および回復(ファームプレス) 基礎動物看護学2動物病理学・動物薬理学(エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用についての知識を動物看護師が有することはカルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となる。そのために薬物の取り扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。薬理学総論において薬の基本的性質、効能と副作用について学ぶ。また、薬理学各論においてそれぞれの薬の投薬前後の動物における状態の変化を学習する。飼い主に正しい投薬説明、指導ができることを目指す。				
授業終了時の到達目標				
泌尿器系に作用する薬について説明することができる 消化器系に作用する薬について説明することができる オータコイド・代謝・内分泌系の薬について説明することができる 抗炎症薬について説明することができる 化学療法について説明することができる 看護動物に使用する投与量を正確に計算できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 30年以上 動物系専門学校における動物看護系教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬、尿毒素治療薬、尿酸生成抑制薬、尿酸性化薬、尿崩症治療薬		
2~5	消化器系に作用する薬	催吐薬、制吐薬、消化性潰瘍治療薬、止瀉薬、瀉下薬、肝臓・胆道疾患の薬、膵臓疾患の薬		
6~9	オータコイド・代謝・内分泌系の薬	オータコイド、糖尿病治療薬、甲状腺ホルモン製剤、性ステロイド、副腎皮質ホルモン製剤		
10~11	抗炎症薬	炎症とは、ステロイド系抗炎症薬、非ステロイド系抗炎症薬、		
12~13	化学療法薬	抗菌薬、抗真菌薬、駆虫薬、抗腫瘍薬(抗がん剤)、		
14	薬用量の計算方法	薬剤の有効成分量(錠剤、粉剤、液剤)、投与量の計算		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルのファーストステップ薬理学(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト3 動物の疾病と予防および回復(ファームプレス) 基礎動物看護学2 動物病理学・動物薬理学(エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科学目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院で6年の勤務、現在はペットショップで勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	真菌による人獣共通感染症①	真菌による主な人獣共通感染症に入る前に、真菌の性状について振り返る		
2	真菌による人獣共通感染症②	真菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(皮膚糸状菌症、クリプトコッカス症)		
3	寄生虫による人獣共通感染症①	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(原虫について、トキソプラズマ症)		
4	寄生虫による人獣共通感染症②	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(ジアルジア症、クリプトスポリジウム症、アメーバ赤痢)		
5	寄生虫による人獣共通感染症③	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(線虫によるもの、条虫によるもの)		
6	寄生虫による人獣共通感染症④	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(寄生性節足動物によるもの)		
7	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の違いについて学ぶ		
8	滅菌と消毒②	物理的滅菌方法について学ぶ		
9	滅菌と消毒③	物理的消毒方法について学ぶ		
10	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
11	滅菌と消毒⑤	化学的消毒方法について学ぶ		
12	人獣共通感染症の対策①	人獣共通感染症の対策について学ぶ		
13	人獣共通感染症の対策②	伴侶動物と共生する上での人獣共通感染症の対策について学ぶ		
14	人獣共通感染症の対策③	院内感染とは何か、またその対策について学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の教科書（緑書房）	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学総論		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として、重要な役割を果たすようになってきている。そのためには獣医師の職域とは異なる動物看護師の視点で動物を見られるようになる必要がある。「動物臨床看護学総論」では、動物看護学各論で学んだ概要を再度復習し、動物看護師の役割、目的などを振り返る。動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識が必要であることは言うまでもない。人の言葉を話せず、習性や生態もちがう動物の心理的な状態を予測すること、看護動物を取り巻く社会的な影響として環境や飼い主家族の特徴をとらえることは、家庭でのお世話を継続して貰うために非常に大切である。チーム獣医療の中で動物看護師がどのような視点で看護を行うべきか症状別の看護のポイントを学ぶ。

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
有	県内の動物病院で20年動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	動物看護学概論	臨床動物看護学の開始前に1年次の復習として動物看護について学び直す
2	動物看護学概論2	動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる
3	動物看護学概論3	動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる
4	動物看護者の倫理綱領	「動物看護者の倫理綱領2009」について学ぶ
5	動物看護技術の基盤	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
6	動物看護技術の基盤2	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
7	動物看護技術の基盤3	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
8	症状別の動物看護	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる
9	症状別の動物看護2	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる
10	症状別の動物看護3	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる



回	テ ー マ	内 容		
11	症状別の動物看護 4	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
12	症状別の動物看護 5	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
13	症状別の動物看護 6	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
14	症状別の動物看護 7	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
15	症状別の動物看護 8	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
生命倫理の考え方および動物愛護・動物福祉について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<p>言葉をもたない動物を扱うにあたり倫理観を書くことはできないため、動物愛護と動物福祉の違いを説明できるようになる。</p> <p>そして、資格が出来るに至る歴史やプロセスを理解し、自己研鑽を欠かしてはならないことを理解し愛玩動物看護師として人と動物の関係に上手に介入できる知識を習得する。</p> <p>人と動物の共生社会をリードする存在になる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院において動物看護師として20年勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	授業ガイダンス	授業ガイダンス		
2	生命倫理の概念	倫理とは何か、生命倫理と獣医療の関わりについて学ぶ		
3~4	動物福祉の概念	動物福祉の考え方について理解する		
5~6	愛玩動物の福祉	愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題について理解する		
7~8	産業動物の福祉	産業動物における福祉上の問題について理解する		
9~10	実験動物の福祉	実験動物における福祉上の問題について理解する		
11~12	展示動物の福祉	展示動物における福祉上の問題について理解する		
13~14	愛玩動物看護師の倫理	動物看護師倫理綱領について理解する		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 (Eduward Press)		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
産業・実験・野生動物学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>実験動物は医学、薬学、生命科学などにおける教育、研究、試験のために用いられる動物や、生物学的製剤の製造やその他の科学的な利用に供される動物である。</p> <p>それらは、目的に合わせてさまざまな種類の動物が用いられている。基本的には非終生飼育動物であり、それらは伴侶動物とは異なる飼養環境に置かれている。本学科ではそれぞれの動物の基礎的な子要管理に加えて、実験動物を管理する上で身に付けておくべき内容について学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>実験動物の社会的役割と、実験動物として用いられる動物の種類を理解する。</p> <p>動物実験における「3Rの原則」を理解し、実験動物に対する福祉的な配慮について身に付ける。</p> <p>実験動物の飼育環境や実験動物の扱い及び管理について理解する。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院において獣医師としての診療業務	37年	
		動物系専門学校における教務	14年	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	実験動物概論①	実験動物の目的と配慮 実験動物とは		
2	実験動物概論②	実験動物の歴史 実験動物関連法規の誕生と発展		
3	実験動物の管理学①	生体因子の管理学 遺伝的モニタリングの管理学		
4	実験動物の管理学②	住居環境因子、物理化学的因子の管理学 栄養学的管理学 微生物学的管理学		
5	実験動物の管理学③	動物実験の基本技術 動物飼育管理上の注意点		
6	実験動物の特性と飼育管理①	マウス・ラット		
7	実験動物の特性と飼育管理②	シリアンハムスター・チャイニーズハムスター		
8	実験動物の特性と飼育管理③	スナネズミ・モルモット		
9	実験動物の特性と飼育管理④	ウサギ・サル類		
10	疾患モデル動物	自然発症疾患モデル動物・トランスジェニック動物 実験的疾患モデル動物、研究資源バンク		
11	動物実験の代替法	代替法とその活動 代替法開発の背景と現在の課題		
12	実験動物の福祉①	実験動物の福祉と動物実験に関する法規制 3Rの原則		
13	実験動物の福祉②	環境エンリッチメント 獣医学的ケア		

回	テ ー マ	内 容		
14	実験動物の福祉③	実験動物の苦痛の評価 安楽死を伴わない動物実験 労働安全衛生		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学3（インターズー） 動物看護コアテキスト4（ファームプレ ス）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
産業・実験・野生動物学Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>自然環境の中で生息し、人間による飼育や繁殖がなく自立して生活している動物が野生動物である。日本における野生動物の現状を正しく理解する。野生動物による人への被害、逆にヒトによって多くの野生動物が絶滅の危機にさらされていること、どのようにしてこの二つの現状を改善するかを考える。また、野生動物の救護についても動物看護師として治療にかかわることになるので、理解を深める。野生動物に対する福祉を考え動物看護師としての知識を深める  「レクリエーション」「野生動物の種の保存」「野生動物の調査、研究」「教育」を目的とした動物園などの展示動物についても理解を深める</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>野生動物の現状について説明することができる  野生動物の関連法規について理解し、そこで求められる取り扱いについて説明できる  特定外来生物に指定されている動物種を知り、外来生物がもたらす影響について説明ができる  野生動物の福祉上の問題点を説明できる  野生動物の福祉向上のために行われている対策を説明できる  展示動物について現状と目的について説明できる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として動物病院での診療業務 30年以上 教員として動物系専門学校での教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	野生動物の概要	野生動物の分類、日本の野生動物、		
2	絶滅危惧種	絶滅危惧種とは 絶滅危惧種になる原因 絶滅危惧種の保全方法		
3	野生動物の保護に関する法律 世界の取り決め	鳥獣保護法 外来生物法 ワシントン条約 ラムサール条約 世界遺産条約 生物多 様性条約		
4~ 6	野生動物の管理	野生動物における鳥獣害の現状 管理対象となる野生動物 の生態 野生動物増加の要因 日本における取組み		
7~ 8	動物看護師と野生動物	野生動物救護の考え方 野生動物の病気と事故 野生動物 の救護体制		
9	野生動物の福祉	野生動物の福祉 野生動物の福祉に関する諸問題 対策と 課題		
10~ 11	外来生物	外来生物とは 外来生物による影響 対策方法		
12~ 14	動物園の役割、展示動物について	日本における動物園、水族館の現状とその役割について学 習する 展示動物の行動を理解し、健康と福祉に配慮した飼育環境 並びに展示方法について学習する		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学3(エデュワードプレス) 動物看護の教科書第4巻(緑書房) 動物看護コアテキスト4 同b津の行動と健 健康管理(ファームプレス)		期末試験	100.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
基礎的なクライアントエデュケーション、事前問診、容態説明、などを理解し実施できるようになる。その際に必要となるコミュニケーション力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院にて、動物看護師として20年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	クライアントエデュケーション	クライアントエデュケーション概論		
5~6	院内コミュニケーション	飼い主教育を主体としたインフォームドコンセントを理解する		
7~8	院内マネジメント	院内業務について理解する		
9~11	グリーフケア	グリーフケアの対応と禁忌		
12	メンタルヘルス	動物看護師のメンタルヘルスについて		
13	まとめ	まとめ		
14	総復習	総復習		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8 (Eduward Press)		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護実習 I		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾, 高島
授業の概要				
講義で取得した知識の実践とし、診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を取得する				
授業終了時の到達目標				
今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な技術を習得する 受付での対応が一般的な接客業とは異なることを理解し、専門的視点で判断し対応できるようになる さまざまな診療の補助に必要な手技を習得する ウサギやハムスターの扱いについて理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師経験10年		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	授業ガイダンス	動物看護のための準備・心構え		
2	受付業務①	事務作業、物品の管理について		
3	受付業務②	薬袋の記入、説明の仕方		
4	受付業務③	飼い主対応、食事指導		
5	超音波検査①	超音波検査の基礎知識、注意点、保定法		
6	超音波検査②	超音波検査画像の観察と保定の実践		
7	薬用量の計算	薬品の取扱いと使用時の計算方法、調合方法		
8	診療補助①	緊急時の対応		
9	診療補助②	輸液管理について		
10	診療補助③	輸液ポンプの取扱い		
11	診療補助④	エキゾチックアニマルの保定		
12	実技試験の練習			
13	実技試験			
14	総まとめ	これまでに学んできたことの復習		



回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護実習テキスト第3版 (Edward Press)	期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾,高島
授業の概要				
<p>「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。</p> <p>全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として10年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	前期末試験の見直し	前期末試験の解説と復習		
2~4	血液検査①	血液検査の準備、採血管の種類を覚える		
5	輸血	輸血の目的、準備と補助の手技を学ぶ		
6~8	X線検査	X線検査の基礎知識から保定の実践		
9	手術器具	翼現場で使用する手術関連器具を覚える		
10	診療補助	猫と暴れる犬の保定、対応方法		
11	実技試験の練習			
12	実技試験			
13	総まとめ	これまでに学んできたことの復習		
14	期末試験			
15	期末試験の解説			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習 I		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物介在活動の意義を理解する</li> <li>・よりよい活動方法を考える</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<b>■通年到達目標とする</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる</li> <li>・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる</li> <li>・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年の実務経験		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物介在活動の意義を理解する</li> <li>・よりよい活動方法を考える</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<b>■通年到達目標とする</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる</li> <li>・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる</li> <li>・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年、動物病院に勤務する。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する</li> <li>総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する</li> <li>動物看護師としての役割や責任について、認識を深める</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	実務型実習	オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する		
6~10	実務型実習	指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携の中で看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う		
11~15	実務型実習	動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する		
16~20	実務型実習	動物病院内における、動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能、行動、責務について考えることができる		
21~25	実務型実習	動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める		
26~30	実務型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学		動物看護総合学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として7年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	健康の保持・増進	健康診断の内容と目的		
4	診療補助に必要な技術①	診察における愛玩動物看護師の役割		
5	診療補助に必要な技術②	診察の準備と衛生管理		
6	診療補助に必要な技術③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物種ごとに応じた適切な接し方</li> <li>・保定の基本、目的および方法</li> </ul>		
7	診療補助に必要な技術④	身体検査とアセスメント項目		
8	検査・処置に必要な技術①	注射器の取り扱いおよび管理方法		
9	検査・処置に必要な技術②	採血の目的と方法		
10	検査・処置に必要な技術③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採尿の目的と方法</li> <li>・穿刺と吸引</li> <li>・各種カテーテル挿入</li> </ul>		
11	検査・処置に必要な技術④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素吸入とは</li> <li>・マイクロチップの挿入</li> </ul>		
12	投薬に関わる技術①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の処方</li> <li>・内服薬の使用法</li> <li>・注射の注射法</li> </ul>		
13	投薬に関わる技術②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外用薬の使用法</li> <li>・薬浴の実施法</li> <li>・投薬前後の注意事項</li> </ul>		
14	まとめ			
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内 容	
	・動物看護コアテキスト第3版「臨床動物看護学Ⅰ（動物内科看護学）」	期末試験 出席率	80.0% 20.0%



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として7年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	術中補助①	代表的な手術器具の名称と使用法を学ぶ		
4~5	術中補助②	代表的な縫合材の分類と使用法について学ぶ		
6	術中補助③	代表的な歯科器具の名称と使用法について学ぶ		
7	術中補助④	術中における直接補助・間接補助の内容について学ぶ		
8~9	術後管理①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて学ぶ</li> <li>・疼痛管理の意義と目的について学ぶ</li> </ul>		
10	術後管理②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・術創管理と包帯法について学ぶ</li> <li>・退院時の注意点と飼い主への説明の仕方を学ぶ</li> </ul>		
11	救急救命①	エマージェンシーの原因と病態について学ぶ		
12	救急救命②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次救命措置(BLS)について学ぶ</li> <li>・二次救命措置(ALS)について学ぶ</li> </ul>		
13	救急救命③	気管挿管と心肺蘇生の方法について学ぶ		
14	まとめ	これまでのまとめを行う		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物看護実習テキスト(インターズー)</li> <li>・周術期の動物看護パーフェクトナビ(インターズー)</li> <li>・動物看護師のための麻酔超入門(インターズー)</li> </ul>		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
卒業後も役に立つように、自分でテーマを見つけ、考え、結論を出す過程を習得する				
授業終了時の到達目標				
研究の過程を理解し、パワーポイントの作成と発表ができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で20年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	テーマを決める	自分が興味のあるテーマを探る		
4~12	研究を進めていく	文献を探し、自分なりの方法で研究を進めていく		
13~15	中間発表	進捗具合と修正		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 出席率	60.0% 40.0%	